



富士市の学校給食に
関心のある方なら
どなたでも
ご参加いただけます

2025. **9.6** 13:30～16:00 (受付 13:00～)
SAT



子どもを中心に地域ぐるみで考えよう

第1部 ドキュメンタリー映画 「希望の給食」 上映

第2部 講演会 「子どもたちの未来と地域をはぐくむ食のちから」

講師：小櫛和子（NPO法人ふじのくに学校給食を考える会 理事長）

会場： 富士駅南まちづくりセンター 小木の里ホール

（富士市横割1-4-15 富士第二小学校北側）



託児無料／8名程度

※託児のご予約も右記QRコード（Googleフォーム）よりお申込みください。

参加無料

定員60名（要予約）

※応募者多数の際は、抽選により
外れた方のみご連絡いたします。

Scan me



お申込み締切

8/31 SUN まで

子どもを中心に 地域ぐるみで 考えよう



主なプログラム

- 13:00 受付開始
- 13:30 開会・趣旨説明
- 13:40 ドキュメンタリー映画
「希望の給食」上映（42分）
- 14:30 休憩
- 14:40 「学校給食と地域の未来」
～自校直営方式と地産地消の意義～
講師：小櫛和子
（NPO法人ふじのくに学校給食を考える会 理事長）
- 15:40 質疑応答・意見交換
- 16:00 閉会

日本と韓国の学校給食
地域の未来をつくる
給食のあり方を考えます！

次世代に伝えたい
大切なメッセージ



映画上映会

子どもたちの健康と成長を担い、地域の食と農をつなぐ給食。そこに私たちはどのような未来を描き、実現していくのかー



- ・制作：2022年／本編42分／バリアフリー字幕
- ・事例紹介：千葉県いすみ市／長野県松川町／東京都武蔵野市／京畿道ファソン市



ふじのくに学校給食を考える会
Instagramはこちら！

SCAN ME !



SNSをチェック！



一食と農がつむぐ自治と民 希望の給食

（上映時間：42分）

子どもたちが食べている学校給食。そのなかには、ただの「食事」を超えた大切な意味が込められています。誰がどんな想いで食材を作り、どのように届けられ、どんな人が心を込めて調理しているのか――。生産者の育成や自然環境の保全、子どもの貧困といった社会課題の中で、給食の役割が改めて注目されています。この映画では、有機・無償の給食を実現した韓国の市民運動にも迫り、地域の未来をつくる食のあり方を考えます。次世代に向け『学校給食』の可能性を描いたドキュメンタリー映画。「食べることは生きること」そんな当たり前の原点に立ち返ってみませんか。



講師：小櫛 和子

食育インストラクター
NPO法人ふじのくに学校給食を考える会 理事長
静岡県学校給食ネットワーク 代表

1987年に市民団体として発足した「富士市学校給食を考える会」は、2017年に「NPO法人ふじのくに学校給食を考える会」として新たな歩みを始め、今年で38年目を迎えました。私たちは、学校給食を通じて“命の源”である食の大切さを伝え、地域に根ざしたローカルフードシステムの再構築に取り組んでいます。富士市では地産地消の推進により、昨年度は市内小学校19校で延べ61回の「出前授業」が実施され、2,723名の児童が地域の食材に触れながら生産者への感謝の気持ちを育んでいます。また、子どもたちがその背景にある人や地域とのつながりを感じられる「富士地区食材100%給食」を実施するなど、これから給食に込められた人の思いや、地域・自然の恵みに目を向けながら、子どもたちと一緒に食の大切さを感じていけたらと思います。私たち大人も一人ひとりが日々の『食』に関心を持ち、子どもたちの健やかな成長を見守りながら、今できることを考えていきましょう。



おいしいは
人のつながりから
給食は
お腹だけではなく
心を満たすもの

お問い合わせ先： ☎ 090-8320-5368（保科／ふじのくに学校給食を考える会）